

TONEYAMA



大阪府立刀根山高等学校

〒560-0045 豊中市刀根山6-9-1 TEL:06-6843-3781 FAX:06-6843-1716 H29-No.11

この日は、本校生と保護者だけでなく地域の方々にも呼びかけ、本校生六名を含め、本校OB・保護者・後援会や地域の方々など二十五名が参加しました。講演では、「里山林とは何か」という基本概念から地域の森の歴史的な変遷、現在の状況と課題などについてわかりやすく解説いただきました。

「刀根山・里山活用プロジェクト」 高大及び地域連携事業 里山研修会

十一月十八日(土) 午後「市街地に残る里山林の価値と保全」について、兵庫県立大学教授で「兵庫県立人と自然の博物館」主任研究員の石田弘明先生にご講演をいただき、その後、参加者全員で本校の裏山に残る里山林を観察に行きました。



また、これらの価値を保全するためには、常緑植物や外来植物の繁茂の抑制、希少な植物種の育成や移植とともに、この場所の価値を普及啓発する活動の重要性を強調されていました。

そして、本校の裏山のよいうな「市街地に残る里山林」は、①里山の生物にとつてのオアシスであり、②都市の生物多様性を支える中核的な存在であること、③種の供給源としての役割や④住環境に潤いを与える役割、⑤環境・歴史・文化の生きた教材としての価値を指摘していただきました。

個体数の減少による絶滅

- 人口学的変動
- 環境変動・災害
- 種子生産量の減少
- 遺伝的多様性の低下
- 近親交配による近交弱勢

↓
絶滅

市街地の里山残存林の価値

- 里山生物にとつてのオアシス
- 種の供給源としての役割
- 都市の生物多様性を支える中核的な存在
- 環境・歴史・文化の生きた教材
- 住環境に潤いを与える役割



「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」

(大阪府の「学校経営推進費事業」)

本プロジェクトでは、平成28年度より3年計画で、多くの本校生が環境保全活動や防災活動などへの取組を通して地域の人々や大学などとの交流を深め、そこから様々な学問への興味や進路意識を高めることをめざしています。